令和８年度　うきは市立吉井小学校　学校通信
吉井の伸びしろ
Yoshii Potential
～　自分に期待する子どもの育成　～
令和８年１１月２日（月）
第　７　号
文責　　校長　徳永　真一

心を一つに、がんばったばい！・・・「やればできる」運動会

「燃え上がるぞ！心を一つに　がんばるばい！」

児童会で子ども達自身が決めた運動会のスローガンです。この言葉通りの姿でした。

天候に振り回された運動会。平日開催を余儀なくされ、子ども達、保護者の皆さんには大変ご心配、ご迷惑をおかけしました。

そのような中でも、子ども達は自分のめあてをしっかりともち、役割を自覚し、心を一つにしてがんばっていました。

運動会が終わり、大きな緊張と責任の重圧から解放されたのでしょう。一人の６年生が、タオルに顔をうずめ､声を押し殺すようにして泣いている姿が目に留まりました｡その姿に、これまでの日々の努力や、最高学年として運動会を成功させようとする強い思いが重なって見え、胸が熱くなりました。

運動会は、当日の演技や競技の成果だけで成り立つものではありません。そこに至るまでの練習、仲間との協力、うまくいかないことを乗り越える努力、そして学校全体を支えようとする一人一人の思いがあってこそ、かけがえのない一日となります。

特に６年生にとっては、小学校生活最後の運動会。自分たちが頑張るだけでなく、下級生を導き、仲間を支え、全校の中心となって取り組む日々だったことでしょう。涙の理由をすべて知ることはできませんが、その姿からは、言葉だけでは伝えきれないほどの思いがあふれているように感じました。全力で取り組んだからこそ流れる涙があります。責任を果たそうと懸命に努力したからこその涙。その涙は、目には見えない努力や葛藤、そして大きな成長の証なのかもしれません。

運動会の翌朝、登校してきた３年生の男の子が開口一番､「運動会、楽しかったあ。今日もまたしたいなあ。」と満面の笑顔で。

涙と笑いの運動会、最高です。「やればできる」子ども達、最高です。

保護者の皆さま、ご支援、ご協力、誠にありがとうございました。



お互いの誇りをかけた応援合戦。





「吉井音頭」
保護者の皆さんもご一緒に！
吉井小運動会の名物にしたい･･･





最高学年として迎えた最後の運動会
堂々の入場行進



１、２年生のダンス「元気すぎてメツ！」。元気になりました。



チェッチェッコリチェッコリ！
かわいい玉入れ



３、４年生の「ソーラン節」元気な声が秋空に響き渡りました。



来入児の旗取り。虹色のサメ君も、
応援しました。



最高の仲間と最高の瞬間を！５、６年生が心を一つにがんばりました。

１１／１５「のみの市」

PTA の役員、理事の皆さまをはじめ、たくさんの方のご協力を得ながら今年も開催されます「のみの市」です。品物ご寄付等につきましても、各地区でのご協力、誠にありがとうございます。当日もよろしくお願い致します。

◆日　時　　１１月１５日（日）
　　午前９：30～１１時３０分
◆場　所　　吉井小学校体育館
◆駐車場　　吉井小学校運動場
　　吉井中学校駐車場
　　吉井幼稚園駐車場

「蚤の市（のみのいち）」の由来は、フランスのパリで開かれていた古物市場にあります。

１９世紀ごろ、パリの北部に古着や骨董品などを売る露店市場ができました。その商品はとても古く、蚤（ノミ）が付いているような物もあったことから、「ノミのいる市場」→「蚤の市（のみのいち）」と呼ばれるようになった。という説があるそうです。

英語の「Flea Market」も「蚤の市」という意味だそうです。自由を意味する「Free Market」ではなく、虫のノミを意味する「Flea Market」なのです。

でも大丈夫です。吉井小学校の蚤の市は、ノミが付いているような物はありません！